

重 要 記 録

1 米子市男女共同参画推進条例の施行

男女がそれぞれの個性と能力を発揮し、希望と誇りを持って充実した生活を送ることができる男女共同参画社会を目指して、市、市民、事業者等が協働して取り組むことを定めた米子市男女共同参画推進条例を、4月1日に施行した。条例制定記念イベントには約500名が参加し、男女共同参画に関する理解を深めた。

2 第2次米子市行財政改革の取り組み開始

活力あるまちづくりと市財政健全化の両立を目的として、第2次米子市行財政改革大綱及び実施計画(平成22年度～平成26年度)に基づく取り組みを開始した。

今後も限られた財源や資源を最大限に活用し、必要なサービスの維持、向上と新たな課題やニーズに迅速かつ的確に対応できる持続可能な行財政基盤の確立を目指すこととしている。

3 埋蔵文化財センターオープン

平成18年度から、旧米子市立日新小学校の跡地に整備を進めていた埋蔵文化財センターが4月15日にオープンした。埋蔵文化財の保存と活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めるため、調査研究機能、教育普及・展示機能、収蔵保管機能の充実を整備の基本とし、展示室、資料閲覧室、調査研究室、研修室、特別収蔵庫などを配置している。

4 米子市議会議員選挙実施

6月13日に任期満了に伴う米子市議会議員一般選挙が行われた。この選挙は、定数30に対して36名が立候補の届出を行い、新人7名を含む30名の新議員が誕生した。

5 企業進出相次ぐ

7月1日に、上福原の日本たばこ産業株式会社米子工場跡地に株式会社ナノオプトニクス・エナジー(本社:京都市)が進出した。電気自動車の開発、製造事業並びに太陽光発電関連事業の実施に向けた準備が進められている。

また、ニッポン高度紙工業株式会社(本社:高知市)の二本木地区への進出が決定し、8月23日に企業、鳥取県及び米子市の間で進出に係る協定書の調印式が行われた。平成23年秋の操業開始に向けて工場の建設が進められている。

6 米子市・東草市姉妹都市提携15周年

米子市・東草市姉妹都市提携15周年を記念して、8月6日から9日まで、東草市長を団長とする東草市代表訪日団(30名)を迎えて、姉妹都市提携15周年記念式典を開催するとともに、東草市特産品フェアを行うなど姉妹都市交流のより一層の発展を果たした。

また、記念事業の一環として、10月15日から19日まで、東草市で行われた「雪嶽文化祭」に米子市民俗芸能交流団(35名)を派遣した。

7 皆生温泉開湯110周年記念

皆生温泉の開湯110周年に併せて、皆生海浜公園内に海が見える「潮風の足湯」が8月20日にオープンした。皆生温泉を訪れる旅行者はもとより、市民のいこいの広場として連日、賑わっている。

また、米子市観光センター内の素鳳ふるさと館が11月3日にリニューアルオープンした。古代雛の展示のほか、地元の工芸作家の作品を展示することにより、皆生温泉の拠点施設として生まれ変わった。

8 公会堂存続の方針決定

平成21年度に行った耐震診断で、大ホール・楽屋棟が大地震で倒壊する危険性が高いと判断された。市では「米子市公会堂耐震問題等対策本部」を設け、公会堂のあり方について情報収集や分析を行った。公会堂存廃について総合的に検討し、存続することに方針決定した。

9 年末年始の豪雪への対応

12月31日から1月2日にかけて記録的な豪雪となり、米子市全域において、交通被害、停電被害、倒木被害、農作物被害等が発生した。直ちに米子市豪雪対策本部を設置して高齢者、障がい者の安否確認、救援物資の支給、停電の情報収集及び発信、通学路の除雪等を実施した。

なお、1月1日には観測開始以降最深となる積雪89cmを記録した。

10 米子市公立保育所民営化に係る実施基準及び実施計画の策定

2月15日に米子市公立保育所民営化実施基準及び米子市公立保育所民営化実施計画（1次計画）を策定し、平成25年4月にさくら保育園、平成26年4月に夜見保育園、平成27年4月に大和保育園を民間移管することとした。

11 東日本大震災への対応

3月11日に発生した東日本大震災の被災地への支援として、災害用備蓄品の提供、職員派遣、給水支援隊の派遣等の物的・人的支援を行ったほか、市民からの支援物資や義援金の受付窓口を開設した。

また、被災者の受け入れや転入後の生活支援について対応するため、全庁的な支援チームを立ち上げた。

12 米子駅のバリアフリー化工事が完了

国や米子市が支援し、JR西日本米子支社が平成21年度から整備を進めてきたJR米子駅のエレベーター、エスカレーター、多機能トイレ等のバリアフリー化工事が完了し、3月24日から利用開始した。

13 ヨネギーズ「ツイッター」で米子市を全国にPR

米子市での何気ないことをつぶやいた「ネギ太のツイッター」が人気となった。単なる情報発信にとどまらず、ツイッターでのやりとりから東京の有名飲食店に米子の白ネギを扱ってもらえるようになったり、バーチャルアイドル「はちゅねミク」とのコラボレーションにより、漫画雑誌にヨネギーズが登場した。つぶやきが縁で誕生した「ヨネギーズハンドタオル」は大人気となり全国で販売された。

また2月には東京で「ネギ祭inお台場」が開催されるなど、様々な形で米子市のPRを行った。